

立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

衆議院議員・小児科医 No.598

あべともこニュース

3



衆議院議員あべともこ
プロフィール

神奈川 12 区（藤沢市・寒川町）
当選 7 回、東京大学医学部卒業、
小児科医、あべともこどもクリ
ニック（湘南台）理事長
現在、内閣委員会・原子力問題調
査特別委員会委員



https://twitter.com/abe_tomoko



<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索

あべともこと共に歩む会後援会
入会のご案内及びボランティア
スタッフ募集中！



◆神奈川でもまん延防止措置へ
1月7日に始まった緊急事態が3月21日に終了したのも束の間、4月初旬から宮城、大阪、兵庫、東京、沖縄でまん延防止等重点措置（まん防）が始まりました。変異株の感染力の強さを物語っています。
神奈川県でも知事が国にまん防適用（知事が指定する市区町に時短要請・命令が可能になる）を国に要望、横浜、川崎、相模原の3市が対象とされますが、悪化すれば対象は拡大されます。
適用対象となれば、飲食店の時短要請が今は21時なのが20時までとされたり、不要不急の外出自粛が引き続き求められたりします。
介護や保育施設での予防的検査や、濃厚接触者や感染経路の追跡、医療体制の確保など自治体が一層の感染拡大対策に取り組めるよう国に求めていきます。

◆ワクチン副反応は身近な相談窓口を
いよいよ今週から高齢者にも新型コロナウイルスワクチンの接種が始まりました。
このワクチンはウイルスの遺伝情報を受け継ぐ新しい仕組みのワクチンで、これまでの医療従事者に対する先行接種では、アナフィラキシーをはじめとする多様な副反応が報告されており、今後も神経や免疫系統などに予測不能な、また長期に渡る副反応が起きることが否定できません。
かかりつけ医など身近な医療機関で接種できれば安心ですが、集団接種などで数日経ってから体調の変化を感じた時、相談窓口が県にしかないことは大きな問題です。
いつでも相談できる窓口を身近な市町村に置き、副反応の疑いがあれば、確実に医療機関に繋いで、迅速に報告を上げる体制が求められています。

◆国民理解なしの汚染水処理はNG
原発ゼロの会は「汚染水の海洋放出を断じて容認しない」との要請を9日に行い、地下水流入による汚染水の増大を止める抜本策や、研究機関などが進めるトリチウム除去技術を実用化させる間の保管などを提案しました。
しかし、13日、「廃炉・汚染水・処理水対策関係閣僚等会議」は海洋放出を決定と発表。これは漁業者、漁業者、国民の理解を得られない海洋放出を行なわないとの約束に反し、沖縄の基地問題とも二重写しです。
公聴会を開き、リスコムニケーションの第一歩を踏み出せと要請を行う予定です。



9日に汚染水処理技術の開発と保管を経産省に提案

衆議院議員 あべともこ事務所 〒251-0025 藤沢市鵜沼石上 1-13-13-1 F

TEL 0466-52-2680 FAX 0466-52-2681 E-mail: inochi@shonanfujisawa.com

立憲民主党神奈川県総支部連合会 〒231-0012 横浜市中区相生町 4-69-2 F TEL 045-226-2377 FAX 045-226-2378

感染予防も、汚染水処理も、国民理解なしに進めるな！